

第2次草津市協働のまちづくり推進計画の課題について

1. 協働のまちづくり推進計画について

草津市では、平成26年7月に「草津市協働のまちづくり条例」を施行し、条例の理念を具現化し、実効性を担保するために、平成27年3月に「草津市協働のまちづくり推進計画」を、令和2年3月「第2次草津市協働のまちづくり推進計画」を策定し、各種施策を推進してきました。

現計画は、令和2年度～令和6年度の5カ年計画で、令和6年度に次期計画を策定する予定です。

2. 第3次草津市協働のまちづくり推進計画 策定スケジュール

令和5年度は、第3次計画策定に向けて、課題抽出のための調査や、調査結果を基にした課題整理を行います。

令和6年度は、草津市協働のまちづくり・市民参加推進評価委員会に対し、市長から諮問を行い、委員会で計画策定のための審議を行います。また、委員会だけでなく、ワークショップの開催等、他の市民参加の手法も取り入れながら計画策定を進めます。

なお、現在の委員任期が令和6年6月末までとなっていることから、第3次計画の具体的な策定については新たな委員で審議いただくこととなります。



3. 令和5年度のスケジュール

第1回	7月27日	第2次計画における課題についての意見交換
第2回	10～11月	アンケート調査結果の提示、分野ごとの課題の整理
第3回	2月予定	現状と課題のまとめ

4. 第1回 意見交換の内容

第2次草津市協働のまちづくり推進計画の策定時においては、当該委員会での議論に加え、課題共有型地域円卓会議や市民フォーラムなどのワークショップ、草津市コミュニティ事業団が実施した市民活動等アンケート調査（参考資料2）を行いました。

第2次計画期間における課題抽出に向けて、同様のアンケートや関係団体へのヒアリング、ワークショップの開催等を検討しておりますが、データの裏にある市民の意見を集めるため、よりよい取組となるようそれぞれのお立場やご経験から多様なご意見をいただきたいと考えております。

- ・日頃の活動や自身の体験の中で感じている課題は何か
(活動のしやすさ、行政や他の主体との関わりといった視点で)
- ・そういった課題を広く市民から集めるためにどのような工夫が必要か